

取扱説明書

排気レールシステム (Nederman)



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告・注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

- 使用目的

本製品は、アイドリング状態にある一般乗用車やトラックなどを点検・整備する際に発生する排気ガスを排気ファン及びダクトなどと併用して、屋外に排出するための装置です。なお、本製品は溶接のヒューム・塵埃などの排出には使用することはできません。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行なう方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を良くご理解いただくようによくお読みください。



警告

： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。






この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。




- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

-  - 車両エンジンの回転数を上げたまま（空ふかしや高負荷状態）の状態です長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。
-  - 黒煙除去装置（DPF, DPD, DPR など）を装着している車両において、黒煙除去装置が再生状態にある場合には、使用しないでください。排気ガスの温度が高温（400℃以上）となり、ホースの破損や火災の原因となります。
-  - 車両マフラーへのラバーノズルの差込み固定は確実に行ってください。固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や稼働中にノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充満して作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

注意

-  - 本製品の改造は絶対にしないでください。改造すると人身事故や故障を生じる恐れがあります。
-  - エンジンクリーナーを使用した状態での車両には使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。
-  - 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは、大変高温になっています。ラバーノズルの取外しには手袋などの防具をはめて、火傷しないように注意してください。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1) 920/400 レール	1
2) 920/1500 レール	2
2. 設置	
2.1 設置場所の選定	3
3. 使用前の準備	
3.1 バランサーの調整	4
3.2 確認事項	6
4. 使用方法	
(1) ホースユニットの移動	8
(2) 排気ホースを下ろす	9
(3) ノズルの接続	10
(4) ファンを起動	10
(5) エンジンを始動	11
(6) エンジン停止	12
(7) ファン停止	12
(8) ノズルを取出す	12
(9) 排気ホースを収納	12
(10) ホースユニットの移動	13
5. 保守・点検	
5.1 故障の点検とその対策（トラブルシューティング）	14
5.2 保守・点検	14
6. 仕様	15
7. 主要寸法	16
8. パーツリスト	18
9. 製品保証登録シート	24
10. 保証規定	25

1. 各部の名称

1)920/400 レール

排気ホースをバルンサーで吊るタイプとノズルホルダーで吊るタイプの2種類があります。

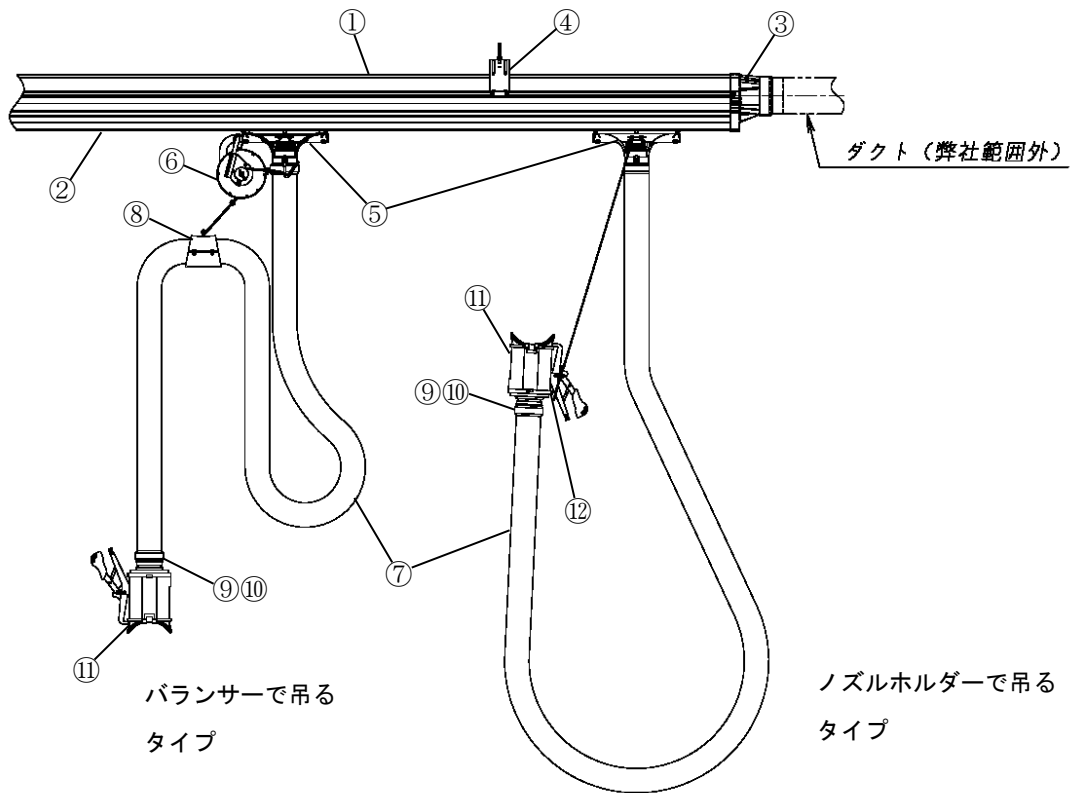


Fig.1.1

No.	部品名称
1	排気レール920
2	ラバーシール
3	エンドキャップ
4	レール取付金具
5	トロリー400
6	バルンサー
7	排気ホース
8	ホースホルダー
9	ホースバンド
10	ラバーカバー
11	ラバーノズル
12	ノズルホルダー

2)920/1500 レール

排気ホースをバルンサーで吊るタイプとノズルホルダーで吊るタイプの2種類があります。

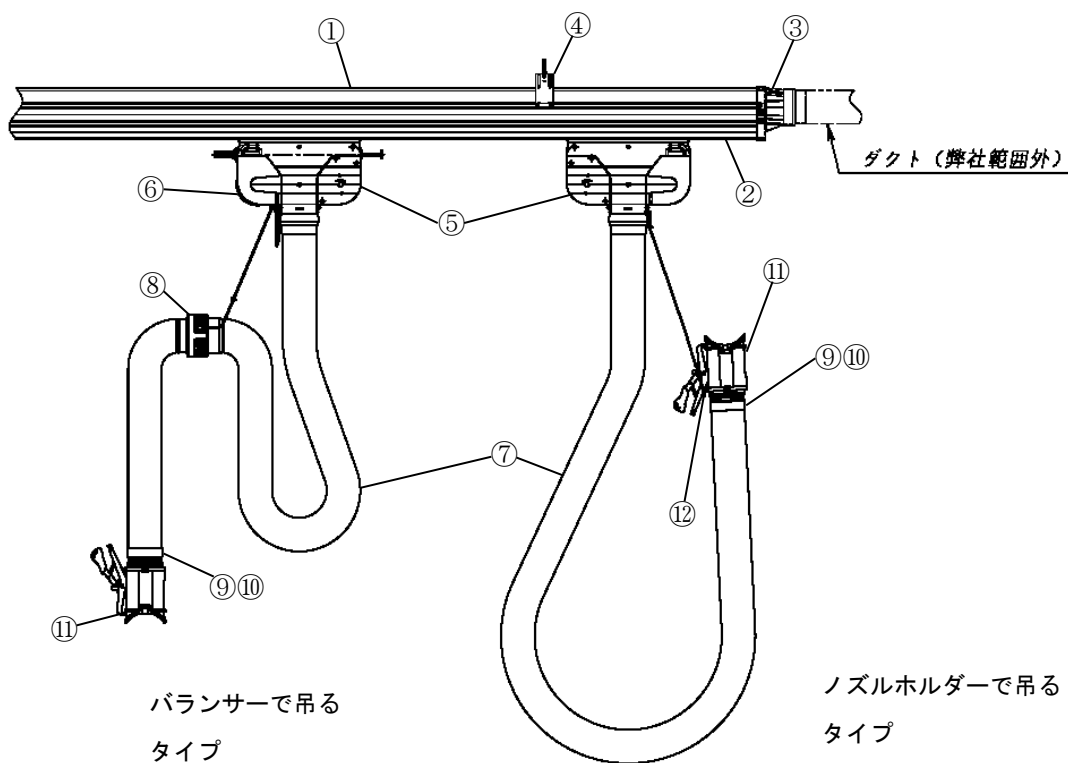


Fig.1.2

No.	部品名称
1	排気レール920
2	ラバーシール
3	エンドキャップ
4	レール取付金具
5	トロリー1500
6	バルンサーキット
7	排気ホース
8	セーフティーカップリング
9	ホースバンド
10	ラバーカバー
11	ラバーノズル
12	ノズルホルダー

2. 設置

2.1 設置場所の選定

920 レールを設置する為の排気レール取付架台は、以下のような条件を考慮して形状及び設置場所を選定してください。

床面からの取付け高さは、使用するトロリーによって異なります。

920/400 ホースユニットの場合、3~4m になります。

(Fig.2.1)

920/1500 ホースユニットの場合、静止したまま使用するタイプは4~5m、車両追従タイプは3~5m となります。(Fig.2.2)

この車両追従タイプは移動しながら使用する為に、架台及び排気レールシステムに他の仕様よりも大きな負荷がかかる恐れがあります。そこで目安として 4000N の力で引っ張ってもしっかりと支えられる架台を使用してください。

また、推奨される使用範囲は排気レールから 0.5~1m までとなっております。(Fig.2.3)

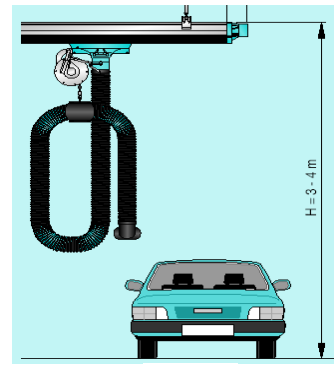


Fig.2.1

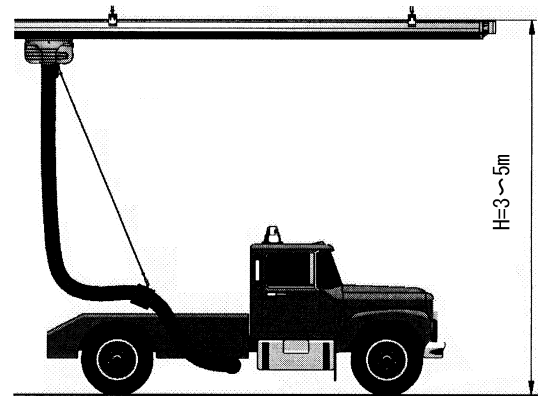


Fig.2.2

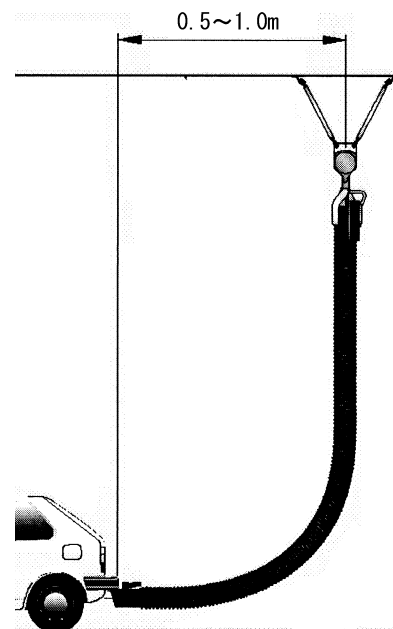


Fig.2.3

3. 使用前の準備

本システムには車両のマフラー部に接続するラバーノズルや排気ガスを吸引、排出する排気ファンは含まれておりません。別途ご購入ください。

また、車両マフラー部に排気ホースが届かない場合には、延長用の排気ホースを別途ご購入の上、延長接続してください。

3.1 バランサーの調整

ラバーノズルとホースを下方向に引っ張り、バランサーの張力が適切であるか確認してください。張力が弱すぎる場合や、強すぎる場合には張力を調整する必要があります。下記を参考に調整してください。

使用する工具：六角レンチ(5mm用)、ソケットレンチ用ハンドル(12.7角ドライブ)、下記にあります金具を押せるようなマイナスドライバー等の工具

a) バランサーの張力を強める方法

① セーフティーロックを解除する

まず、トロリー400仕様の場合ではラッチをかけてください。
ラッチ機能はバランサーの紐を下げ、“カチカチ”と音がする位置でロックがかかります。(トロリー1500仕様にはラッチ機能は付いていません。)

次に“Safety lock”と表示されている箇所に取り付けられている六角穴付きボルト(トロリー400仕様の場合)またはノブ(トロリー1500仕様の場合)を外し、セーフティーロックを解除してください。

このとき、バランサーの張力によって急に時計回りに回る恐れがある為、中央の穴にハンドルを差し込み、しっかりと保持した状態で作業を行ってください。(Fig.3.1、Fig.3.2)

② バランサーの張力を強める

ハンドルをしっかりと持ちながら反時計回りに回すと張力は強まります。一回転させて“カチッ”と音が鳴るまで回してください。ロックがかかります。

この作業をバランサーの張力が十分になるまで行ってください。

<トロリー400仕様>



Fig.3.1

<トロリー1500仕様>

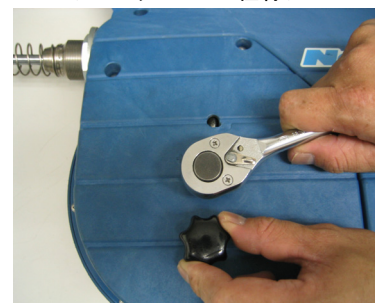


Fig.3.2

⚠ 注意



- バランサーが張力によって急に時計回りに回り、バランサーの破損や人的損傷が生じる恐れがあります。ハンドルをしっかりと持ち、十分に注意して作業を行ってください。

③ セーフティーロックをかける

ハンドルをしっかりと保持した状態で、取外した六角穴付きボルト(トロリー400仕様の場合)またはノブ(トロリー1500仕様の場合)を取付け、セーフティーロックをかけてください。

b) バランサーの張力を弱める方法

① セーフティーロックを解除する

3.1 の a) ①と同様にして六角穴付きボルト(トロリー400 仕様の場合)またはノブ(トロリー1500 仕様の場合)を取外し、セーフティーロックを解除してください。

② バランサーの張力を弱める

“lock”と表示されている箇所にバランサーの張力を保持する為の金具があります。ハンドルをしっかりと持った状態で、マイナスドライバー等でこの金具を奥まで押し込んでロックを解除してください。(Fig.3.3)

マイナスドライバー



Fig.3.3

ロックを解除した後、マイナスドライバー等を抜いてください。また、ロックを解除するとバランサーの張力によってハンドルが時計回りに回ります。ハンドルをしっかりと支えながらゆっくりと時計回りに回してください。(Fig.3.4、Fig.3.5)
1回転させるとロックがかかります。バランサー張力が適当になるまで上記の作業を繰り返してください。



Fig.3.4

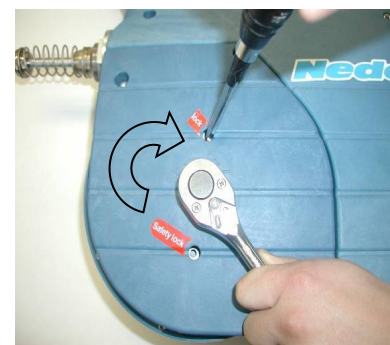


Fig.3.5

⚠ 注意



- マイナスドライバー等で金具を押すとロックが解除され、張力によってバランサーが急に時計回りに回り、バランサーの破損や人的損傷が生じる恐れがあります。中央の穴に差し込んだハンドルをしっかりと保持した状態で作業してください。

③セーフティーロックをかける

3.1のa)③と同様にして、取外した六角穴付きボルト(トロリー400仕様の場合)またはノブ(トロリー1500仕様の場合)を取付け、セーフティーロックをかけてください。

3.2 確認事項

- 1) 本機を排気レール取付架台に固定しているボルト及びナットに緩みがないか確認してください。
- 2) トロリーを移動させる際に異常な音が発生していないか、またはスムーズに移動するか確認してください。
- 3) ダンパーが正常に開閉するか確認してください。

<ダンパー及びホースホルダーまたはセーフティーカップリングが付属の場合>

ホースを下に下げるとダンパーが開きます。また、ホースを上部へ戻すとダンパーは閉じます。

<ダンパー及びノズルホルダーが付属の場合>

ノズルホルダーに掛けてあるラバーノズルを外すとダンパーが開きます。また、ラバーノズルをノズルホルダーに掛けるとダンパーは閉じます。

ダンパーの開閉状態は下の図のようにトロリーの外に出ているダンパーのバーの向きを見ることでわかります。

920/400 ホースユニットでは、ダンパーはAの状態では閉じており、Bの状態では開いています。(Fig.3.6)

920/1500 ホースユニットではダンパーはIの状態では閉じており、IIの状態では開いています。(Fig.3.7)

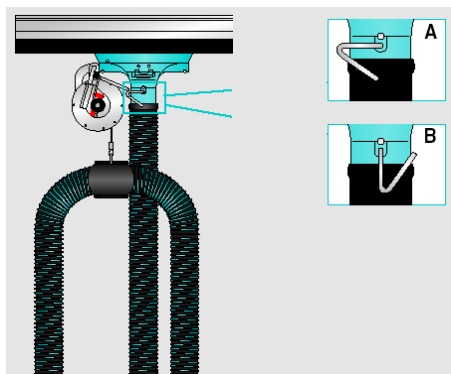


Fig.3.6

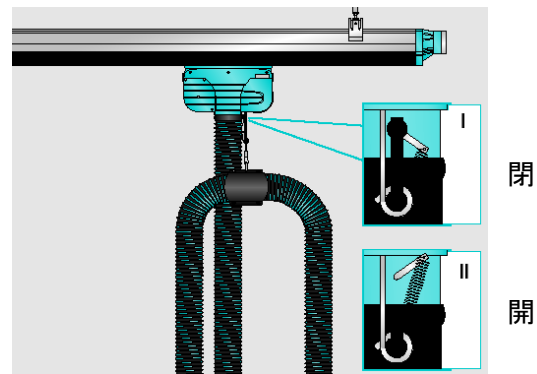


Fig.3.7

- 4) 排気ホースにラバーノズルが確実に接続されていることを確認してください。

<ラバーノズルの取付け>

- a) ラバーカバー及びホースバンドに排気ホースを通してください。
- b) 排気ホースをラバーノズルのフレキシブルパイプ部の奥まで差し込み、ホースバンドを排気ホースの端まで移動させてください。
- c) ホースバンドにてしっかりと締め付けてください。(締め付けトルク参考値: 2.5 N・m)
- d) ラバーカバーをホースバンドの上に覆い被せ、ホースバンドの金属部が見えないようにしてください。

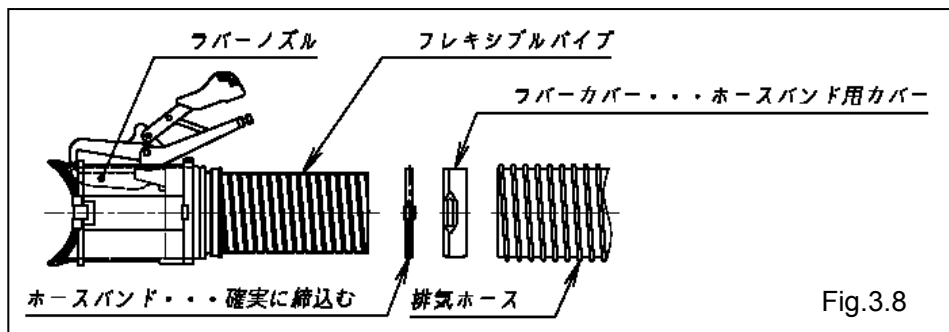


Fig.3.8

⚠ 注意

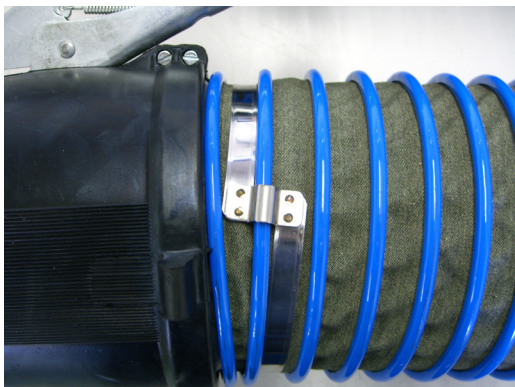


- ホースバンドを強く締めすぎると溶接部が変形し、溶接が外れる恐れがあります。ホースバンドの溶接部が変形しないように注意しながら締め付けてください。



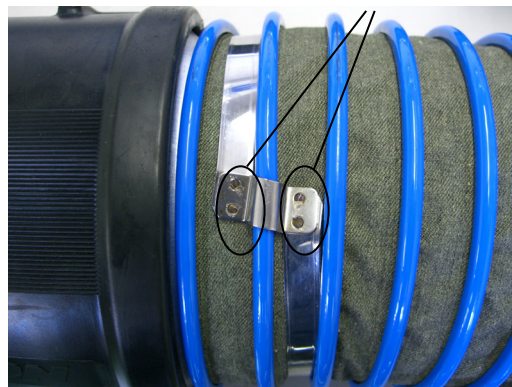
- ラバーカバーはホースバンド全周を覆うようにして取付けてください。ホースバンドの一部がラバーカバーよりはみ出していると、その部分との接触により排気ホースや車両等の損傷、及び人的損傷を起こす恐れがあります。

<良い例>



しっかりと締め付けられており、溶接部に変形がない状態 Fig.3.9(a)

<悪い例>



過度の締め付けにより溶接部に大きな変形が見られる状態 Fig.3.9(b)

5) ラバーノズルの先端部（バيسクリップ部）が、車両の排気マフラーにしっかりと固定出来ることを確認してください。車両マフラーの板厚によっては上手くクリップ出来ないことがあります。その場合には、グリップの調整ねじで調整を行ってください。(Fig.3.10)

トクシュラバーノズルの場合はナットの位置で調整してください。(Fig.3.11)



Fig.3.10

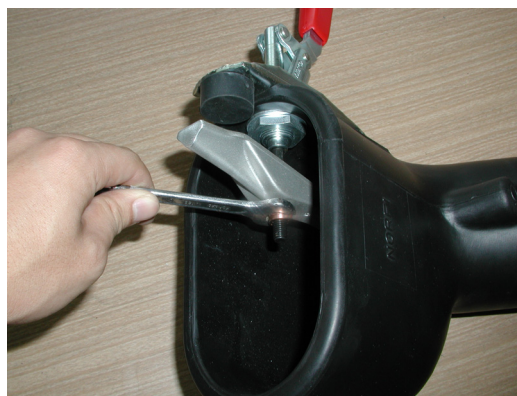


Fig.3.11

⚠ 注意



- 車両のマフラー部にラバーノズルが届かない場合は、ラバーノズルを無理に引っ張らずに車両をラバーノズルの届く範囲まで移動させてください。無理に引っ張ると排気ホース及び機器の破損の原因になります。



- 車両のマフラーに接続する時は、排気ホースを床面に引きずらないでください。ホースに傷がつくことによりホースの寿命が短くなります。

4. 使用方法

製品の仕様によって使用方法が異なります。下記の表より製品の仕様からタイプを選定してください。

製品番号	トロリー種類	仕様			ホースホルダー	セーフティーカップリング	使用状態※	タイプ				
		ホース	バルンサー	ノズルホルダー					ダンパー			
H911020	400	NR-CP	5	100	×	○	×	×	×	静止	I	
H911820					×	○	○	×	×	静止	II	
H921120		NFC-3			○	×	○	○	×	静止	III	
H921020					×	○	×	×	×	静止	I	
H921820					×	○	○	×	×	静止	II	
H911220	1500	NR-CP	5	150	×	○	×	×	×	静止	I	
H912020					×	○	○	×	×	静止	II	
H910920		NFC-3			6	○	×	○	×	○	車両追従	IV
H921220					5	×	○	×	×	×	静止	I
H922020					×	○	○	×	×	×	静止	II
H920020					6	○	×	○	×	×	○	車両追従

※静止・・・車両が停止している状態で作業を行う為、ホースユニットも静止している状態

車両追従・・・車両を移動させながら作業を行う為、ホースユニットも車両に追従している状態

＜使用方法＞

タイプ	参照項目
I	1)、2)-a、3)~8)、9)-a、10)
II	1)、2)-a、3)~8)、9)-a、10)
III	1)、2)-b、3)~8)、9)-b、10)
IV	1)、2)-c、3)~8)、9)-c、10)

(1)ホースユニットの移動

トロリーを点検または整備する車両の近くまで移動させてください。

⚠ 注意



- トロリーはホース部をゆっくりと手で押しながら移動させてください。ノズル部やホース部を無理に引っ張ってトロリーを移動させますと、ホース、車両及び周辺機器の破損の原因になります。



- トロリーは必ず排気レールに沿って移動させてください。排気レールに対して無理な角度で移動しますと、トロリーが円滑に移動しないだけでなく、ホース、車両及び周辺機器の破損の原因になります。

(2)排気ホースを下ろす

a) I、IIのタイプ

ラバーノズルをしっかりと持ち、ノズルホルダーからノズルのグリップ部をゆっくり外してください。

(Fig.4.1、Fig.4.2)



Fig.4.1



Fig.4.2

b)IIIのタイプ

ホースユニットのホースをしっかりと手に持ち、ホースホルダーをゆっくりと下げてください。

適切な長さまでホースを下げたら、ラッチをかけた状態でホースを止めてください。ラッチ機能はバルンサーの紐をさらに下げ、“カチカチ”と音がする位置でロックがかかります。

また、ホースを下げても車両マフラー部まで届かない場合には、バルンサーの紐に結んでいるフックを、ホースホルダーから外してください。外したフックは近くの構造物等に引っ掛ける等の措置を行い、紐がバルンサーに巻き取られないようにしてください。

⚠ 注意



- ホースホルダーを下げる際には、必ずゆっくりと下げてください。急激に下げますと、ホースや車両、周辺機器の破損の原因になります。



- フックの取外しは、フック及びホースをしっかりと持った状態で行ってください。紐には常にバルンサーの張力が働いている為、フックを外すとホース等の荷重がなくなり、紐及びフックが急速に巻き取られて人身事故、または車両や周辺機器の破損の原因になります。

c)IVのタイプ

排気ホースユニットのホースをしっかりと手に持ち、セーフティーカップリングをゆっくりと下げてください。

このタイプにはバルンサーにラッチ機能が付いていないので、紐には常にバルンサーの張力が働いています。その為、適切な長さまでホースを下げたらその状態を保持してください。

⚠ 注意



- セーフティーカップリングを下げる際には、必ずゆっくりと下げてください。急激に下げますと、ホースや車両、周辺機器の破損の原因になります。

(3)ノズルの接続

ラバーノズルの取手部を持ち、先端部（バイスクリップ部）を車両のマフラーに差し込んで、しっかりとクリップして固定してください。

車両マフラーの厚さによっては、堅くて上手くクリップできないことがあります。その場合には、調整ネジで調整してください。(Fig.3.10、Fig.3.11 参照)

注意



- 車両マフラーにラバーノズルが届かない範囲にある場合には、ラバーノズルを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張りますと排気ホースの破損や機器の破損の原因になります。その際には、トロリーを適切な位置まで移動させるか、もしくは車両を適切な位置まで移動させてください。



- ラバーノズルがしっかりと固定されていることを確認してください。固定が不十分であると、エンジン始動時及び稼動時にラバーノズルが外れてしまい、排気ガスは吸引されず室内に充満し、作業者が排気ガスを吸い込み健康を害する恐れがあります。

(4)ファンを起動

排気システム制御盤（オプション品）を操作してファン（オプション品）を起動させてください。

注意



- ファン起動中にトロリーを移動させる場合には、ファンの吸引力でシールラバーが密着して移動しづらいことがあります。その状態でトロリーまたはホースを無理に引っ張ると、ホース及び周辺機器の破損の原因になります。ファンを一度停止させてからトロリーを移動し、再度ファンを起動してください。

(5)エンジンを始動

a)タイプⅠ、Ⅱ、Ⅲ([4.使用方法]の項参照)

車両のエンジンをかけ、作業を行ってください。

注意



- 必ずファンが正常に起動していることを確認した上で、車両のエンジンをかけて点検・整備を行ってください。ファンが起動していない場合、排気ガスは吸引されず室内に充満し、作業者が排気ガスを吸い込み健康を害する恐れがあります。



- 車両のエンジン回転数を上げたまま（空ぶかし状態や高負荷状態）で長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、ホースの劣化や火災または故障の原因になると共に、排気ガスが吸引されず室内に充満し、作業者が排気ガスを吸い込み健康を害する恐れがあります。

排気ホースの耐熱温度

ホースの種類	通常の連続使用温度	短時間での最高使用温度(5分)
NR-CP	150℃	170℃
NFC-3(ディーゼル車専用)	300℃	350℃



- 車両は必ずアイドリング程度の回転数の速度で移動させてください。それ以上の速度での移動は、車両に追従するホースユニットがレールに取付けられているストッパー（トロリーストップまたはエンドストップ）に激しく衝突し、トロリー及び周辺機器の破損の原因になります。（Ⅳのタイプのみ）



- 車両は必ず排気レールに沿って移動させてください。排気レールに対して無理な角度で移動しますと、トロリーが円滑に移動しないだけでなく、ホース、車両及び周辺機器の破損の原因になります。（Ⅳのタイプのみ）



- 車両は必ずホースが届く範囲内で移動させてください。車両を範囲外まで移動させると、ホースや車両、周辺機器の破損の原因になります。（Ⅳのタイプのみ）

(6)エンジン停止

作業が終了しましたら、車両のエンジンを停止してください。

 **注意**



- 必ず車両のエンジンを止めてから次の操作を行ってください。エンジンを止めずにファンを停止した場合には、排気ガスは吸引されず室内に充満し、作業者が排気ガスを吸い込み健康を害する恐れがあります。

(7)ファン停止

排気システム制御盤を操作してファンを停止させてください。

(8)ノズルを取出す

ラバーノズルのクリップを完全に解除して、先端部（バيسクリップ部）を車両のマフラーから取外してください。

 **注意**



- クリップを完全に解除してからラバーノズルを引き抜いてください。クリップの解除が不完全のまま引き抜くと、車両マフラーなどの傷や故障の原因になります。

(9)排気ホースを収納

a)タイプⅠ、Ⅱ（[4.使用方法]の項参照）

ラバーノズルをしっかりと持ち、グリップ部をノズルホルダーへゆっくりと引っ掛けてください。

b)タイプⅢ（[4.使用方法]の項参照）

まず、 balanサーの紐に結んだフックをホースホルダーから外している場合、再びフックを繋いでください。次に balanサーのラッチ機能を解除し、ホースを収納してください。 balanサーの紐をさらに下げ、“カチカチ”と音がしない位置でラッチ機能が解除されます。この状態でゆっくりとホース部から手を放すと、 balanサーの紐が巻き取られると共にホースは上に引っ張られて収納されます。

 **注意**



- 排気ホースはゆっくりと収納してください。急激に収納すると、ホースユニット及び周辺機器の原因となります。

c)タイプⅣ（[4.使用方法]の項参照）

ゆっくりとホース部から手を放して排気ホースを収納してください。このタイプには balanサーにラッチ機能は付いていませんので、紐に働く balanサーの張力によって排気ホースは自動的に上部へと収納されます。

 **注意**



- 排気ホースはゆっくりと収納してください。急激に収納すると、ホースユニット及び周辺機器の原因となります。

(10)ホースユニットの移動

ホースユニットのホース部を排気レールに沿ってゆっくりと手で押しながら、邪魔にならない場所に移動させてください。

注意



- トロリーはホース部をゆっくりと手で押しながら移動させてください。ノズル部やホース部を無理に引っ張ってトロリーを動かしますと、ホースや車両、周辺機器の破損の原因になります。



- レールの端へトロリーを移動させる場合にはゆっくりと移動させてください。レールに取付けられているストッパー（トロリーストップまたはエンドストップ）に激しく衝突させると、トロリー及び周辺機器の破損の原因になります。



- トロリーは必ず排気レールに沿って移動させてください。排気レールに対して無理な角度で移動しますと、トロリーが円滑に移動しないばかりでなく、ホースや車両、周辺機器の破損の原因になります。

5. 保守・点検

5.1 故障の点検とその対策（トラブルシューティング）

症状	原因	点検内容・対策
ファンが全く吸わない。	・ ファンが動いていない。 ・ 排気システム制御盤の電源が入っていない。 ・ 配管の接続がされていない。	・ ファンの取扱説明書をお読みにになり、ファンを稼働状態にしてください。 ・ 排気システム制御盤内の配線用遮断機をONにしてください。 ・ もう一度配線の接続をご確認ください。
ファンの排気ガスの吸い込みが悪くなった。	・ 配管がしっかりと接続されていない。 ・ ラバーノズルに大きなゴミやウエスなどが付着している。	・ 配管の接続を確認してください。 ・ ゴミなどを取除いてください。
トロリーが移動しない。	・ 排気レールに対して無理な角度で移動している。	・ 排気レールに沿って移動してください。

5.2 保守・点検

1) 点検

- ・ 排気ホースに切れや劣化がないか、目視または触診にて確認してください。切れや劣化を発見した場合速やかにお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- ・ ラバーノズルの開口部に大きなゴミやウエスなどが目視にて確認してください。ゴミなどを発見した場合は取除いてください。
- ・ トロリーを移動している際に異常な音が発生していないか、スムーズに移動するか確認してください。

2) 消耗品の交換

下記の消耗品に異常が発見された場合、速やかにお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先に連絡し、新品と交換してください。

- ・ 排気ホースに切れや劣化が見つかった場合
- ・ ラバーノズルに破損があった場合
- ・ セーフティーカップリングまたはノズルホルダーやホースホルダーに取付けている紐に破損があった場合
- ・ トロリーのホイールに破損があった場合
- ・ ラバーシールに切れや劣化が見つかった場合

注意



- 消耗品に不備が見つかった場合には、速やかに交換を行ってください。システムが有効に作動せず思わぬ事故を招く恐れがあります。



- 消耗品の交換は、高所での作業を伴うことがあります。安全規則を遵守の上、落下などには十分注意して行ってください。

6. 仕様

■排気レール

レール及びラバーシールの長さ A[mm]	レールユニット番号	ラバーシール番号	取付金具数量	接続金具数量	レールサポート数量
2500	H916020	H373819	2	0	2
5000	H916120	H373820	2	0	3
7500	H916220	H373821	3	1	5
10000	H916320	H373822	4	1	6
12500	H916420	H373823	5	2	8
15000	H916520	H373824	6	2	9
17500	H916620	H373825	7	3	11
20000	H916720	H373826	8	3	12

※取付け状況により、取付金具、接続金具及びレールサポートの数は変更することがあります。

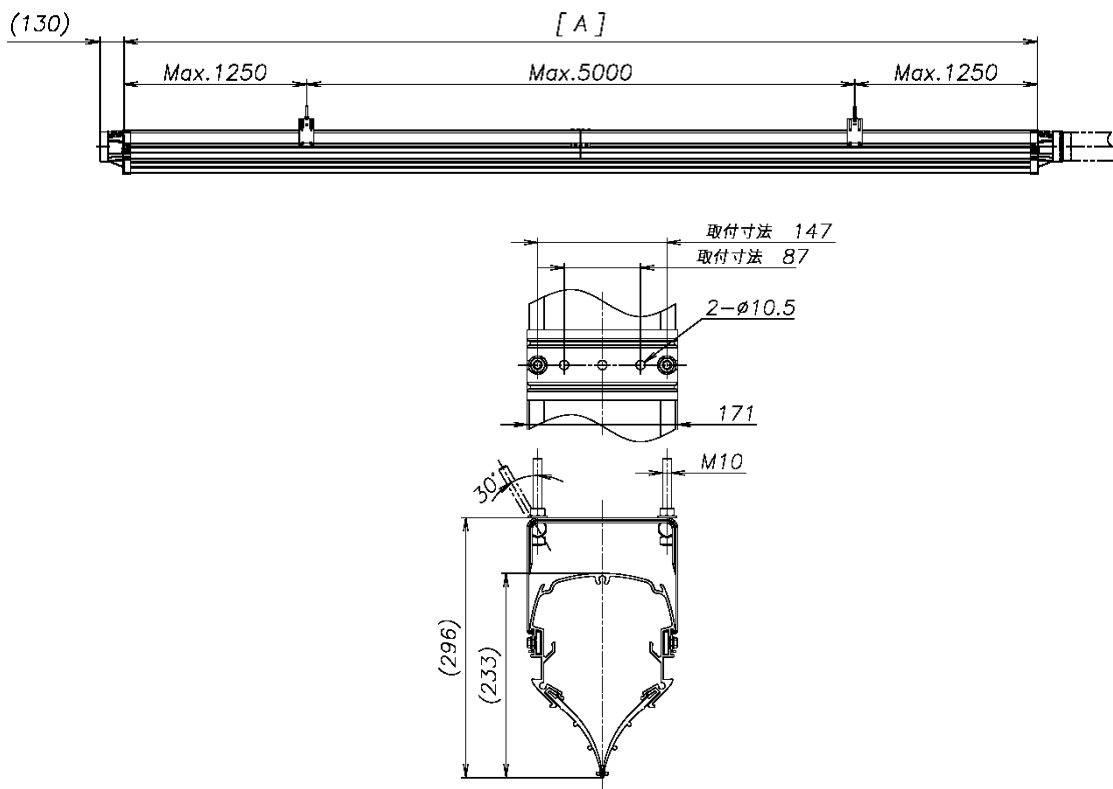
■920/400 ホースユニット

仕様							
製品番号	ホース			バランサー	ノズルホルダー	ダンパー	ホースホルダー
	種類	長さ[m]	直径[mm]	H373759	H373753	H373752	H373607
H911020	NR-CP	5	100		○		
H911820		5			○	○	
H911120		5		○		○	○
H921020	NFC-3	5			○		
H921820		5			○	○	

■920/1500 ホースユニット

仕様							
製品番号	ホース			バランサー	ノズルホルダー	ダンパー	ホースホルダー
	種類	長さ[m]	直径[mm]	H374014	H373753	H373796	H373798
H911220	NR-CP	5	150		○		
H912020		5			○	○	
H910920		6		○		○	○
H921220	NFC-3	5			○		
H922020		5			○	○	
H920020		6		○		○	○

7. 主要寸法



<レール取付け金具部詳細>

Fig.7.1

標準品としての排気レールの長さ

レール及びラバーシールの長さ A[mm]	レールユニット番号	ラバーシール番号
2500	H916020	H373819
5000	H916120	H373820
7500	H916220	H373821
10000	H916320	H373822
12500	H916420	H373823
15000	H916520	H373824
17500	H916620	H373825
20000	H916720	H373826

(1) トロリー-400 (製品番号 : H373816)

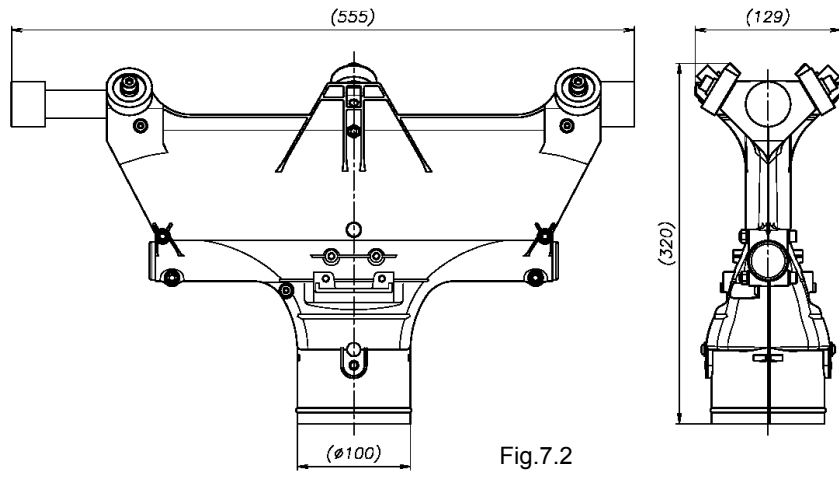


Fig.7.2

(2) トロリー-1500 (製品番号 : H373842)

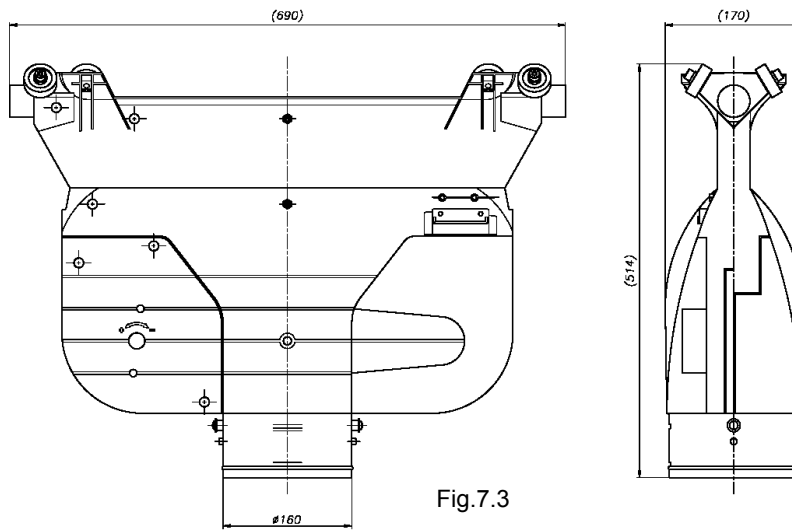


Fig.7.3

(3) トロリー-1500 (製品番号 : H374071)

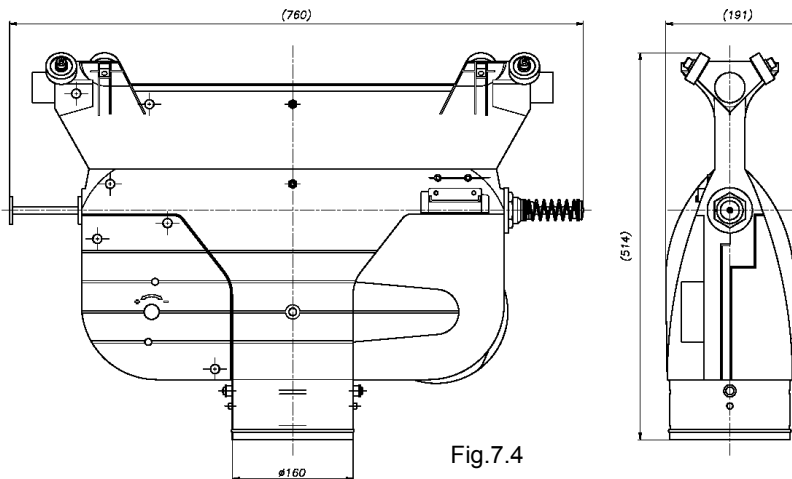


Fig.7.4

8. パーツリスト

■排気レールと各部品

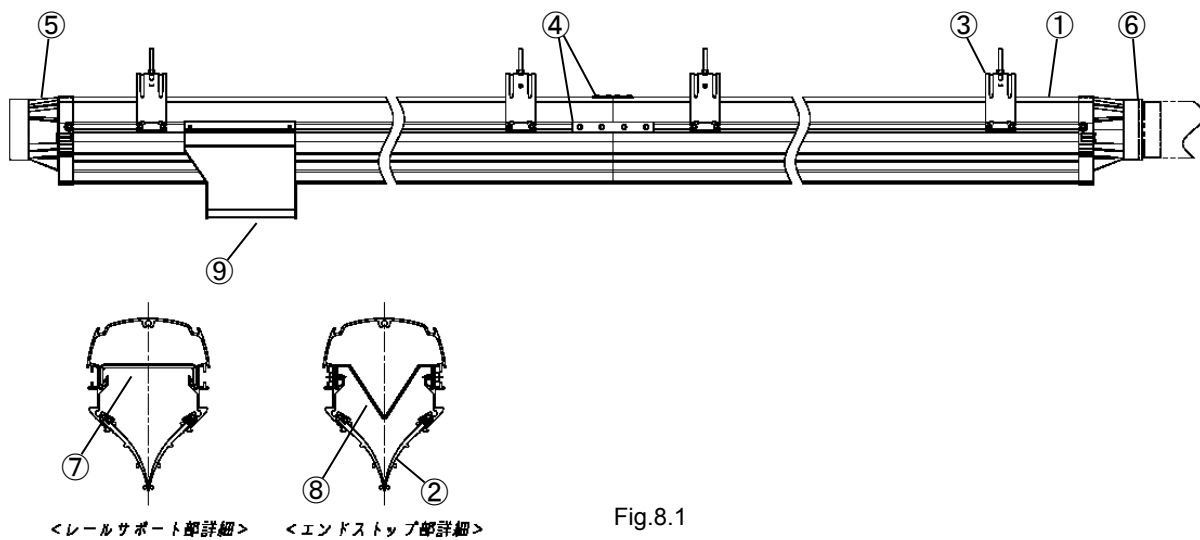


Fig.8.1

番号	製品名称	製品番号	備考
1	排気レール 920	長さによって番号が異なります。	Fig.7.1下表 参照
2	ラバーシール(ペア)	長さによって番号が異なります。	Fig.7.1下表 参照
3	レール取付金具	H373811	
4	接続金具	H373813	
5	エンドカバーセット	H373815	
6	レジュースー	接続するダクト径によって 番号が異なります。	P.23 表 参照
7	レールサポート	H373812	
8	エンドストップ	H373814	
9	トロリーストップ	H373836	920/1500 用

■920/400 ホースユニット

Fig.8.2 はバランサー及びダンパー、ホースホルダーを取付けた仕様になります。

Fig.8.3 はダンパー及びノズルホルダーを取付けた仕様になります。

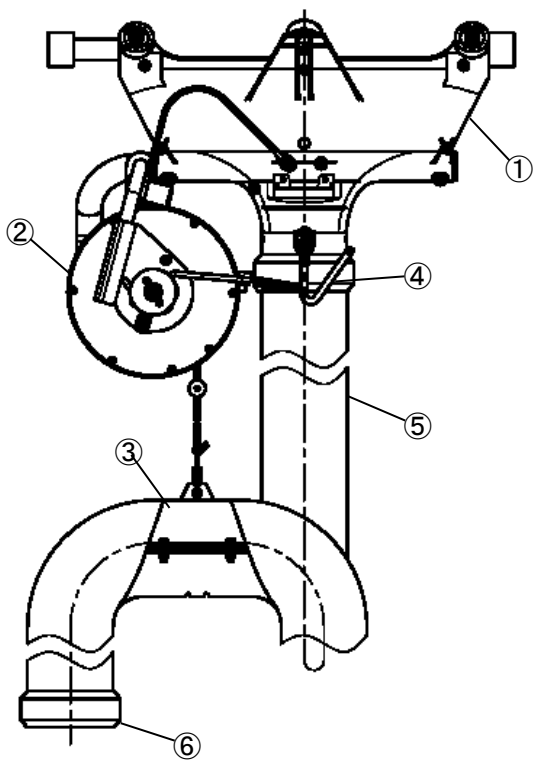


Fig.8.2

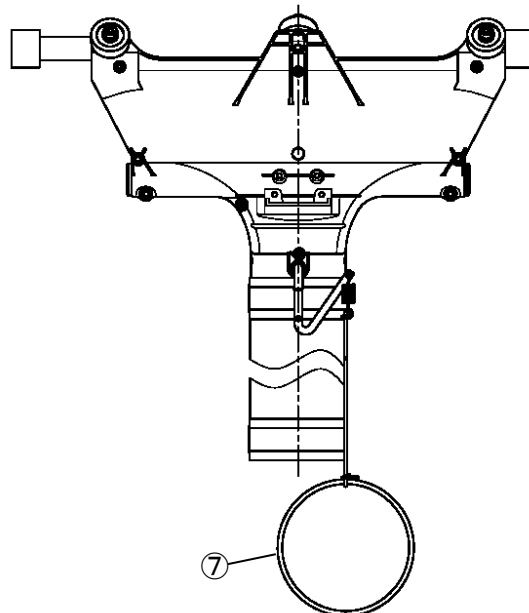


Fig.8.3

番号	製品名称	製品番号	備考
1	トロリー400	H373816	920/400 用
2	バランサーキット	H373759	920/400 用
3	ホースホルダー4"	H373607	920/400 用
4	ダンパー	H373752	920/400 用
5	排気ホース4"	材質及び長さによって番号が 異なります。	P.23 表 参照
6	ラバーカバー4"	H341281	920/400 用
7	ノズルホルダー4"	H373753	

■920/1500 ホースユニット

Fig.8.4 はバルンサー及びダンパー、セーフティーカップリングを取り付けた仕様になります。

Fig.8.5 はダンパー及びノズルホルダーを取り付けた仕様になります。

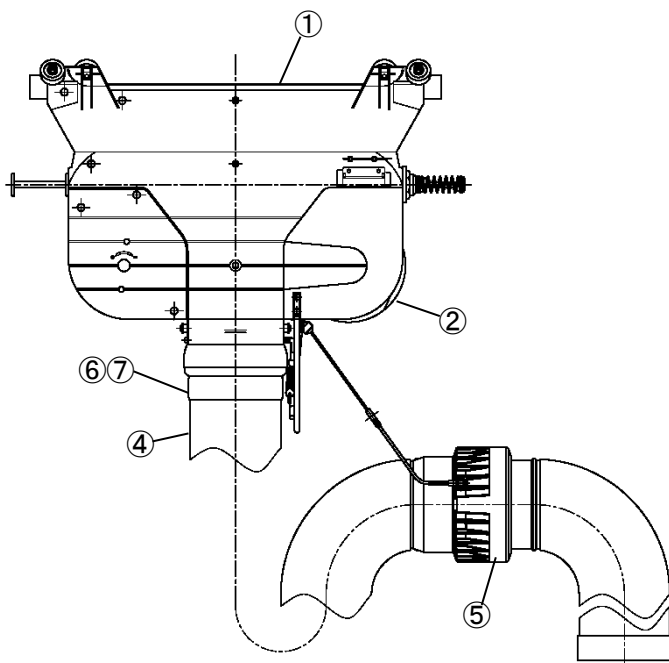


Fig.8.4

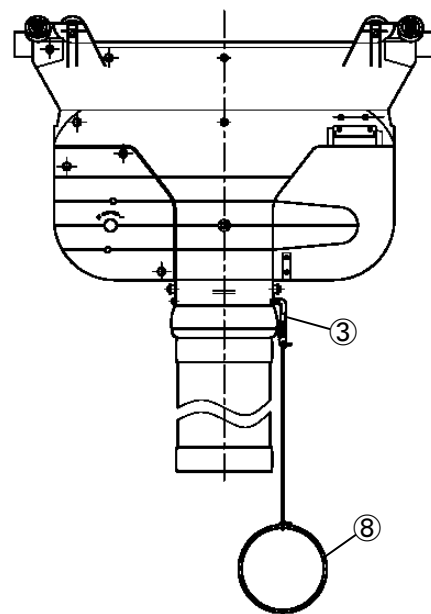


Fig.8.5

番号	製品名称	製品番号	備考
1	トロリー 1500	H373842/H374071	車両追従用/ 静止用
2	バルンサーキット	H374014	920/1500 用
3	ダンパー	H373796	920/1500 用
4	排気ホース6"	材質及び長さによって番号が 異なります。	P.24 表 参照
5	セーフティーカップリング	H373798	920/1500 用
6	ラバーカバー6"	H341283	920/1500 用
7	ホースバンド6"	H341183	920/1500 用
8	ノズルホルダー	H373753	

■ノズル

(a) H803161 ラバーノズル 4" (100 mm)

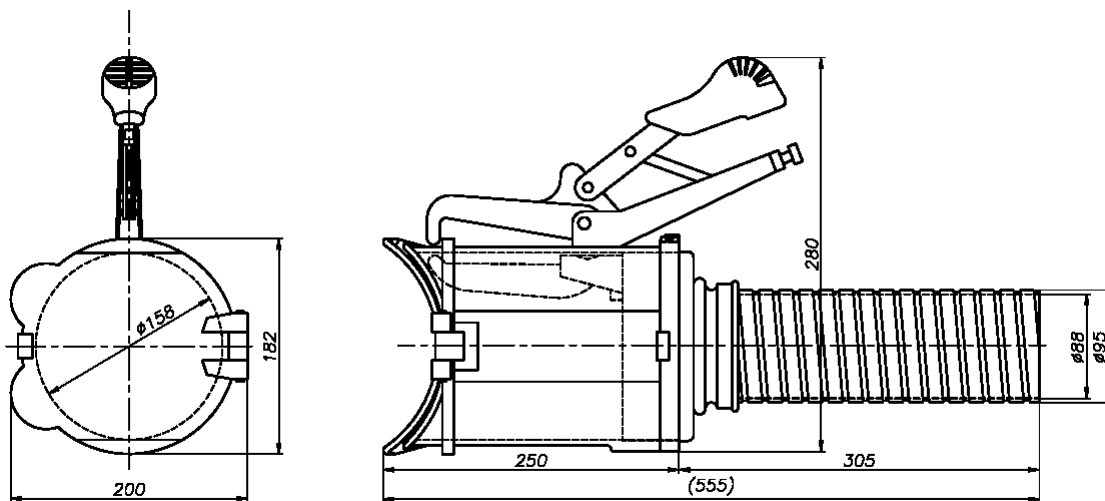


Fig.8.6

(b) H803361 ラバーノズル 6" (150 mm)

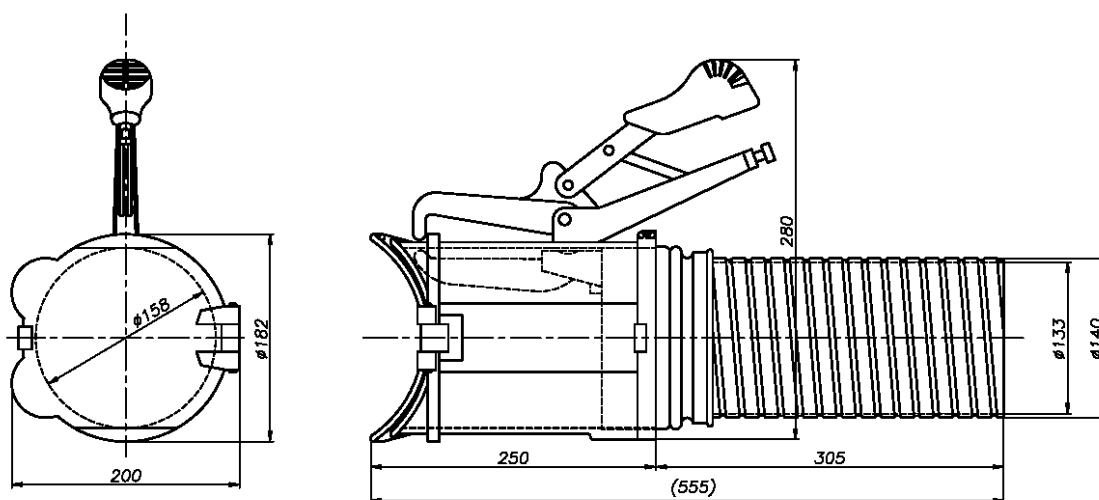


Fig.8.7

(c) H803561 ラバーノズル 4" (100 mm)

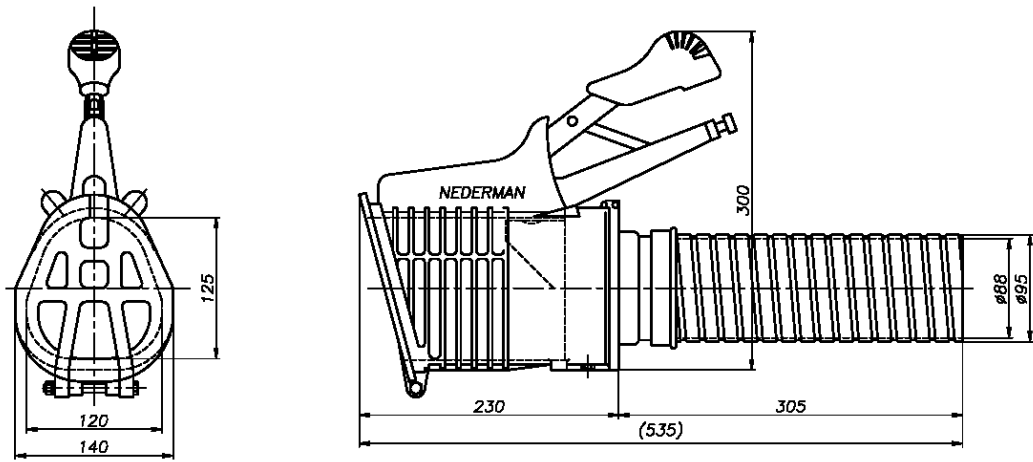


Fig.8.8

(d) H805561 トクシュラバーノズル 4" (100 mm)

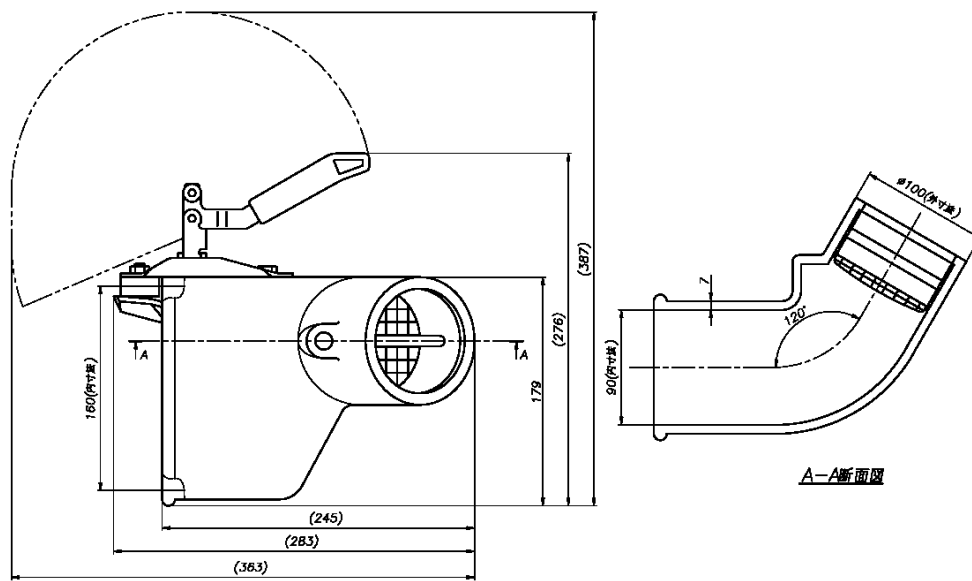


Fig.8.9

■排気ホース

<NR-CP タイプ>

製品番号	仕様(ホース径×長さ)
H820162	3"×2.5m
H820262	3"×5m
H820362	4"×2.5m
H820462	4"×5m
H820562	4"×7.5m
H820762	5"×2.5m
H820862	5"×5m
H820962	5"×7.5m
H821162	6"×2.5m
H821262	6"×5m
H821362	6"×7.5m

<NFC-3 タイプ>

製品番号	仕様(ホース径×長さ)
H822562	4"×2.5m
H822622	4"×5m
H822762	4"×7.5m
H822962	5"×2.5m
H823062	5"×5m
H823162	5"×7.5m
H823362	6"×2.5m
H823462	6"×5m
H823562	6"×7.5m

■ラバーカバー

製品番号	直径[mm]
H341280	75
H314281	100
H341282	125
H341283	150

■ホースバンド

製品番号	直径[mm]
H341180	75
H341181	100
H341182	125
H341183	150

■ホースソケット

製品番号	直径[mm]
H341550	75
H341551	100
H341552	125
H341553	150

■レジューサー

製品番号	直径[mm]
683318	φ 160×φ 150
683744	φ 160×φ 200
683745	φ 160×φ 250
684061	φ 160×φ 300

9. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。(フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。)

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____	ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他 (詳しくご記入ください。 _____)</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他 (詳しくご記入ください。 _____)		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他 (詳しくご記入ください。 _____)																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店	製品名 (型式)																													
	製品番号																													
	SERIAL No.																													

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

10. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用した場合の故障。
- (11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものににつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202102.2529 EXT015U